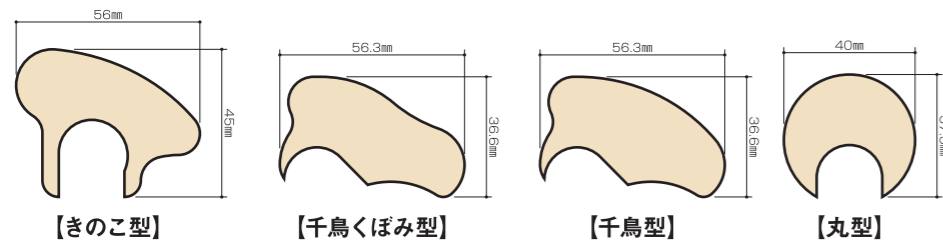


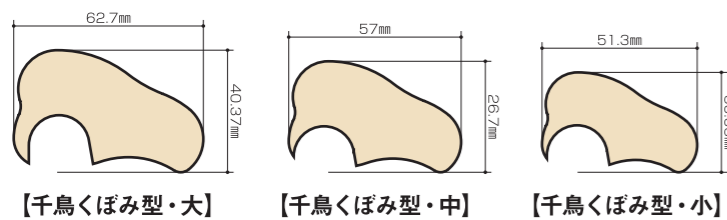
握りやすいフォルムはこうして生まれた



実験1 「形状」を決定する



実験2 「大きさ」を決定する



「千鳥くぼみ型・中」に決定!

【千鳥くぼみ型・中】

いくつかの模型を試作検討して候補をしぼる

一眼レフカメラのグリップのサイズと形状を参考にして、指掛かりのある「千鳥型」を考案。一方で、小指にとって握りやすい大きさの円柱と親指にとって握りやすい大きさの円柱を組み合わせた「だんご型」を考案し、それを改良して「ひょうたん型」をつくり上げました。こうして、たくさんの模型を検討し、しぼり込んだ数種類の形で手摺のサンプルをつくって、使い勝手の実験へ。

形状は、握りやすく安定する「千鳥くぼみ型」に

実験1では、18~40歳の男女16名に協力していただき、4種類の形状による使いやすさの違いを調査。片足ケンケン、目をつぶり伝い歩き、軍手をしてポリタンクを運ぶ、などで試しました。その結果、「くぼみが手のひらに沿って、手摺になじむ」「体重をかけてもすべりにくく安定する。伝い歩きもしやすい」と高評価だった「千鳥くぼみ型」に絞り込みました。

大きさは、手になじんで使いやすい「中」に

さらに実験2では、69~82歳の男女14名に協力していただき、その「千鳥くぼみ型」の中でもどのぐらいの大きさが使いやすいかを調査。手摺を使って椅子から立ち上がる、ポリタンクを持って階段を上下する、手摺を片手で持って反対方向へ体重を預ける、などで試しました。そして「握り具合がよく使用感もいい」「手の中になじみ安心してつかめた」と高評価が集まった「千鳥くぼみ型・中」に決定!



新型手摺の3つの特徴

支持性

手の大きさが変わっても握りやすい



大きな手でも小さな手でも握りやすく、転びそうになったときに手摺をつかんで「身体側に引く」動作や、身体を支えるため「上から押す」動作もしやすいデザイン。

誘導性

方向性を示してくれる



暗くて足下が見えにくい場合や視覚障害の方に、進むべき方向を示してくれる「くぼみ」を手摺に設けました。目隠して歩くと、こちらに進めと誘導してくれます。

安全性

指が金具にぶつかる心配なし



手摺の幅を6cmと広くしたので、手摺を伝う途中で支柱の金具に指をぶつける心配がありません。手を開いたように握っても、指掛かりがあるのでしっかり支えます。

空の下に
自在空間
EX'08

2008 新商品展示会 Report エトランポUコーナー

ユニークな形状の手摺が注目の的
お客様も握って試して納得!

今年の新商品展示会(次ページ参照)には、この新型手摺を加えた「エトランポU」のコーナーも設置。河原先生もアドバイザーとして参加し、訪れるお客様に手摺の特徴や開発経緯を熱心に説明されていました。お客様の反響は予想以上で、実際に手摺を握って歩いてみたり、納まりについて質問されるなど、場内はつねに人だかりができて熱気にあふれていました。



お客様の声

面が広くて安心感がある デザインもいい!

「今日はお施様をお連れしたんですが、この手摺は今まで見たことがなかったので驚いています。さわり心地がすごくいいし、面が広くて安心感がある。今後いろいろ提案していきたいですね」
「手摺は近い将来必要になると思うので、興味があります。これは機能だけでなくデザインもおしゃれでいいですね。やっぱり見た目も大事ですから」
ワーズワース・丹羽まゆみ様(右)とお施様



お年寄りにも小さいお子さんにも 安全な手すりか提案できる

「実際に握って体重をかけたつもりですが、指だけの力で支えられるし、安定感もあるし、支柱の金具にも当たらないし、よく考えて設計されていますね。平坦な敷地のほうが少ないので手摺の需要は多く、高齢者にも小さいお子さんにも必要だと思います。また、手摺としてだけでなく、たとえば落ちないように下を柵にするなど工夫して提案していきたいですね」
株式会社 エクステリア設計士・寺田真生様(中央)、大山祥子様(右)、奥田信弘様(左)

